

HPVワクチンの接種を希望される人へ

～予防接種に欠かせない情報です。必ずお読みください。～

★HPVワクチンは3種類あります。

特徴が異なりますので詳しくは接種医にご相談ください。

※HPVとはヒトパピローマウイルスのことです。

商品名	サーバリックス	ガーダシル	シルガード9
特徴	子宮頸がんの原因となる、発がん性HPV16型、18型の感染を防ぐワクチンです。	子宮頸がんおよび外陰上皮内腫瘍、膣上皮内腫瘍、尖圭コンジローマなどの原因となる、発がん性HPV6型、11型、16型、18型の感染を防ぐワクチンです。	HPV6,11,18,31,33,45,52,及び58型の感染に起因する子宮頸がん、子宮頸部上皮内腫瘍および外陰上皮内腫瘍、尖圭コンジローマなどを予防するワクチンです。
接種回数	3回	3回	3回 (1回目接種が15歳になるまでの場合:2回)
接種間隔	初回 2回目 3回目 1か月後 6か月後	初回 2回目 3回目 2か月後 6か月後	1回目接種が15歳になるまでの場合 初回 2回目 6か月後 1回目接種を15歳になるまでに受ける場合は6か月後に2回目の接種で終了 1回目接種が15歳になってからの場合 初回 2回目 3回目 2か月後 6か月後
接種方法	筋肉注射(腕に0.5ml/回を注射)	筋肉注射(腕に0.5ml/回を注射)	筋肉注射(腕に0.5ml/回を注射)
副反応	50%以上	疼痛、発赤、腫脹、疲労	疼痛
	10%～50%未満	かゆみ、筋肉痛、関節痛、頭痛、疲労、注射部分の痛み・赤み・はれ、胃腸症状(吐気、嘔吐、下痢、腹痛)	注射部分の痛み・赤み・はれ、頭痛
	1～10%未満	発疹、じんましん、注射部分のしこり、めまい、発熱、上気道感染	発熱、注射部分のかゆみ、出血、不快感、頭痛
	1%未満	注射部分のピリピリ感、ムズムズ感、全身の脱力感	注射部分のしこり、手足の痛み、筋肉が硬くなる、下痢、腹痛、白血球数増加
	頻度不明	失神、四肢痛、息苦しさ、息切れ、動悸など	失神、嘔吐、関節痛、筋肉痛、疲労感、悪心、寒気、リンパ節のはれ・痛み、血腫、皮ふ局所の痛みと熱を伴う赤いはれ、体がふらつく、めまい
<p>○まれに、過敏症反応(アナフィラキシー反応、じんましん、呼吸困難、血管のむくみなど)があらわれることがあります。</p> <p>○ガーダシル、シルガード9では、まれにギラン・バレー症候群(下から上に向かう両足のまひ)、血小板減少性紫斑病(鼻血、歯ぐきの出血、月経出血の増加など)、急性散在性脳脊髄炎(まひ、知覚障害、運動障害など)があらわれることがあります。</p> <p>※このような症状が疑われた場合は、すぐに主治医にご相談ください。</p>			

ワクチンを接種したあとも、20歳を過ぎたら定期的に子宮頸がん検診を受診してください。